

自然災害等への対応について

R4.7月～運用

気象状況の悪化等による学校の対応について、次の通り基準を設けて運用しています。

対応レベル	判断の目安	対応内容	特記事項
1 外での活動を禁止します	少しでも雷鳴があったとき 暑さ指数(WBGT)が31以上 大雨・洪水注意報 降雹 大雪注意報・風雪注意報 暴風警報	授業・部活動を含めすべての校舎外での活動を禁止。状況が改善された場合は、再開可否を判断できる。 下校時の注意喚起を行う。 ※降雹・暴風については、状況によって、下校判断もある。	
2 下校とするか否かを判断します	大雨警報 洪水警報(氾濫警戒情報) 記録的短時間大雨情報 竜巻注意情報・発生情報 大雪警報 震度5以上の地震 停電・断水	情報を収集し、以降の活動の可否を判断する。(放課後活動は原則禁止) 下校させる場合は、保護者連絡。 居住地、被災状況、下校手段によっては、安全が確保されるまで学校待機。 通学前で臨時休校相当の場合は、状況等を確認し、臨休とする場合、随時連絡。	局地的な災害発生の場合には柔軟に対応する。 (一部生徒のみの下校もあり)
3 臨時休校となる目安	特別警報(すべての種類) 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報・氾濫発生情報(常呂川・訓子府川・無加川) 暴風雪警報 震度6以上の地震 復旧の見込みのない停電・断水 北見バス(陸別・置戸線)運休 学校周辺道路の通行止め	当てはまる場合は原則として臨時休校、繰り上げ一斉下校とする。 登校後の場合、状況によっては、安全が確保されるまで学校待機。 レベル3に該当がなくても、レベル2の状況で危険性が高いと予想される場合は、休校とすることもある。	生徒の居住地の気象状況等により、登校が困難な場合は、保護者が判断し学校へ連絡。出席停止扱いとする。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・気象情報は、訓子府町・北見市(常呂を除く)が対象 ※河川情報は指定河川(常呂川・訓子府川・無加川) ※土砂災害情報は訓子府町内の学校北側斜面 ・地震の震度は、訓子府町・北見市(常呂を除く)が対象 ・停電・断水は学校周辺が対象 ・バス路線、道路の状況は関係機関と協議 ・他のバス路線、国道や他の道路の状況は個別対応 <p>★その他、想定を超える災害が発生した場合は、生徒の安全確保を最優先に、全職員が冷静で適切な対応をとる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○臨休時は学校ホームページに掲載し、一斉メールにて同内容を連絡する。 ※当日6:00までに掲載・連絡することに努めるが、状況によっては6:00以降となる場合もある。 ○下校判断した場合も、生徒連絡の後、ホームページに掲載し、保護者へメールで連絡する。 	